

石破地方創生担当大臣真庭市を視察 真庭市の取り組みを視察



真庭バイオマス集積基地・第2工場視察の様子



なつかしの学校給食で昼食



勝山町並み保存地区で市民とのふれあい

6月13日と14日間、石破茂地方創生担当大臣が真庭市へ視察に訪れました。13日は、真庭バイオマス発電所、真庭バイオマス集積基地、銘建工業とCLT住宅を視察。14日は、山久世地区での木の伐採の様子や勝山町並み保存地区などを視察した後、旧遷喬尋常小学校でまにワッショイのメンバーらと交流をしました。石破大臣は「地方創生を語る上で、真庭市を見なくては始まらない」とコメント。真庭市の取り組みが、全国的に広がっていくことを期待されていました。

6月5日、真庭市版総合戦略へ市民の意見を反映させ、一緒に推進していくための組織である「市民会議」の4部会の一つ、交流・定任部会が開催されました。会社員や主婦、高校生ら約80人が参加して、ワークショップを実施。北房から蒜山まで地域ごとに班をつくり、地元の魅力などについて話し合い、最後に各班の代表が発表しました。8月に提言書を提出するため、各部会でワークショップを開催する予定です。

まち・ひと・しごと創生市民会議 4つの市民会議始まる



自分が住んでいる地域の魅力を話し合う参加者



岡山県と山本鋼業株式会社、真庭市により協定締結

真庭産業団地立地協定締結式
四国の企業が初進出

6月15日、四国の企業としては真庭産業団地に初進出となる、山本鋼業株式会社との立地協定締結式が市役所本庁舎で行われました。香川県さぬき市に本社を置く同社は、交通の利便性、得意先との距離などを考慮し、真庭市への進出を決定。12月に着工し、平成28年10月の操業を計画しています。建築用その他の鋼材のストック・加工などを予定しており、従業員も真庭市内から採用する予定です。



市政に関する動きの一部を紹介します

5/27 シーガルズの選手とバレーボール

八束小学校で、人権スポーツふれあい教室が開かれ、岡山シーガルズの選手とコーチの4人が訪れました。人権の大切さについてそれぞれが話した後、子どもたちとバレーボールで楽しいひと時を過ごしました。



6/12 ささぶき苑公募説明会に8法人

養護老人ホーム・ささぶき苑の移転・建て替えに当たって、実施主体となる社会福祉法人に対する公募説明会が開かれ、市内外から8法人が出席しました。市は民設民営方式による平成29年度の新施設開設所を目指しています。



市長室から こんにちは!

私の活動日誌

東京にあえて行きたくはありませんが、中央集権の日本では東京での用務が多くあるのが実態です。ある一日の私の活動を紹介します。移動にも時間が結構掛かります。

◇9時10分、総務省を訪問。「合併算定替終了に伴う財政対策連絡協議会」代表幹事として、大石事務次官、佐藤自治財政局長、青木官房審議官、内藤財政課長にお礼と要望。

◇その後、議員会館にて石井正弘参議院議員にお礼と要望をし、その後報道関係者と懇談。

◇12時から経済産業省の安楽岡貿易保険課長と、その後松山新エネルギー対策課長と懇談。

◇13時30分から全国市長会の第4分科会に出席。国土交通省総合政策局長に要望の発言。

◇15時20分に内閣府を訪問し、まち・ひと・しごと創生本部事務局の佐村事務局長代理など、30分から石破大臣と懇談。その後、内閣府の持永大臣官房審議官にお礼。

◇夕刻に国会議員との懇談会に出席。

これからも真庭市内での仕事を大切にしながら、市外でも「真庭」を発信していきます。



狂言師の動きに合わせて体を動かす児童

狂言ワークショップ 笑顔あふれる狂言体験

6月12日、上水田小学校で、狂言の和泉流・野村万作氏の「万作の会」に所属する3人の狂言師が訪れ、狂言ワークショップが開催されました。文化庁の巡回公演事業で7月16日に北房文化センターで開かれる狂言鑑賞会の一環で、同小児童も出演するため、事前指導として実施。5・6年生38人が、講師の指導を受けながら、腰を落とした構え、すり足、発声の抑揚といった基本を楽しそうに学んでいました。



工事の安全を祈り、鍬入れをする太田市長

天津(仮称)建設工事竣工式 新認定こども園建設開始

6月19日、天津・川東こども園(仮称)建設工事竣工式が行われ、関係者や地域住民代表など約60人が出席しました。天津幼稚園、川東幼稚園、落合ひまわり保育園を統合し、新たな認定こども園として開園されます。園舎の完成は平成28年3月末を予定。真庭産木材がふんだんに使用され、ソーラーパネルを設置し、太陽光発電や集熱による暖房設備も完備されます。また、蓄電池も設置され災害時などに利用されます。